

秋田県卓球協会新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

秋田県卓球協会では競技大会の開催に当たり、新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを作成しました。これは、「ガイドライン 日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策（2020年9月17日版）」をもとに作成したものです。このガイドラインに従うことで必ず感染を防御できるというものではなく、大会の規模や会場等によっては臨機応変に対応していくことになります。

また、このガイドラインは日本卓球協会のガイドラインをもとに作成していることから、今後改訂される場合があります。

1 大会の開催について

- (1) 当面の間、種目はシングルスのみとする。
- (2) 原則として競技大会は無観客とするが、県内における新型コロナウイルスの感染状況、会場の収容人数等を勘案し、観客の入場制限について臨機応変に対応する。
 - ア 大会の参加者数は、大会会場の客席数の1/2までとするが、大会会場で上限を定めている場合はこの限りではない。
 - イ 参加者数が観客数の1/2に満たない場合、観客を入れることができるが、入館者の連絡先など、選手と同様に記録を残さなければならない。

2 感染防止のための環境整備について

- (1) 体温チェックのため非接触の温度計を備えること。
- (2) 十分な換気を行うこと。
- (3) 入場する際（特に入り口付近）や観客席ではソーシャルディスタンスを保つこと。
- (4) 消毒薬を準備すること。なお、手指消毒薬には70%アルコール（エタノール）などを配備すること。
- (5) 複数の人が触れると考えられる場所（ドアノブ、テーブル、椅子等）については、次亜塩素酸水、70%アルコール、次亜塩素酸ナトリウム（0.05%希釈）、界面活性剤等でこまめに消毒すること。
- (6) 卓球台、ボールに影響を与えない適用可能となる完璧な消毒方法は判明していないため消毒は行わないが、使用済みのボールについては使い回さず、使用后3日間は再利用しないこと。

3 競技運営委員について

- (1) 選手および参観者に対し、別紙「大会参加申込にあたっての留意事項」を周知し、

各項目について遵守してもらうよう理解と協力を求めること。

- (2) 参加者の入場に当たっては、許可のある者が確認するとともに、協会が必要と認める健康状態に関して報告すること。また、可能な限り入退室の記録を管理すること。
- (3) 参加者が密な環境にならないよう配慮すること。開会式の整列などは省略できる。
- (4) 大会運営者は常にマスクを着用し、手洗いによる除菌等をこまめに行い、感染予防に努めること。
- (5) 新型コロナウイルス感染症に感染の疑いがある者が発生した場合、大会運営責任者は所管する保健所に速やかに報告すること。
- (6) 試合間の消毒等は原則行わない。ただし、有効な消毒方法が確立された場合は運営方法を見直し、試合間に消毒を実施すること。

4 参加者等について

- (1) 参加者等（役員、選手、監督、コーチ、引率、観戦者等）は、氏名、連絡先、当日の健康状態等、協会が必要と認める事項について申告することとする。申告しない者は会場への入場を認めない。
- (2) 過去2週間以内に次の項目に該当する者は参加、入場を見合わせる。
 - ア 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）がある。
 - イ 風邪の症状（咳、のどの痛みなど）がある。
 - ウ 倦怠感（だるさ、身体が重い、疲れやすい等）、呼吸困難（息苦しい等）がある。
 - エ 臭覚や味覚の異常がある。
 - オ 新型コロナウイルス感染症陽性とされる方との濃厚接触がある。
 - カ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。
 - キ 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある。
- (3) 県外からの参加者等は、大会2週間前から毎日の体温を秋田県卓球協会に報告すること。
- (4) 大会参加前に、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の活用を推奨する
- (5) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、秋田県卓球協会に速やかに報告すること

5 競技者について

- (1) 卓球台の上で手を拭かないこと。
- (2) シューズの裏で手を拭かないこと。
- (3) 握手等、身体を接触させる挨拶は行わないこと。
- (4) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行い、感染予防に努めること。
- (5) ボールに触れた手で顔（特に眼、鼻、口）を触らないよう努めること。
- (6) 参加者・指導者の携帯品について
 - ア 感染予防のため、マスク、タオルを必ず持参し、共用しないこと。なお、練習および

び競技中のマスクは必ずしも必要としない。

イ 練習中は極力会話や不要な声出しをしないこととし、会話等が必要な場合はタオルで口を覆うようにすること。

ウ 指導者は練習中であってもマスクを着用すること。

エ 飲料は自分専用のもので飲み、回し飲みはしないこと。

オ 主催者側でもアルコール等は準備するが、可能な限り持参すること。

(7) 大会前の練習は、指定された時間およびコートで行うこと。

6 試合の際の留意点について

(1) ベンチコーチは認めない。ただし、ホープス以下の大会は個別に判断する。

(2) 握手など対戦相手と身体を接触させるようなことは行わないこと。

(3) ラケット交換は行わず、選手相互が見せ合う方式で確認すること。

(4) 試合球はマッチごとに交換すること。

(5) マッチ終了次第マスクを着用すること。

(6) マッチ終了後の相手ベンチへの挨拶は行わないこと。

(7) 声を出しての試合、応援は自粛すること。

7 審判の際の留意点について

(1) 審判中はマスクを着用し、審判業務前後に手指消毒等(使い捨て手袋の着用を含む)を行うこと。

(2) 選手と身体を接触するようなことは行わないこと。

(3) ラケット等、用具の確認は目視で行うこと。